

「ふっつう」を支える

～大学生の地域体験のあり方と期待されるメリット～



ボランティア団体くらうど

代表 計良真生



「ふつう」ってどんなイメージ？

健康で生活に不自由ない

大学に通えている

何も困っていない

ほとんどの人



大学生を支えるってどんなイメージ？

奨学金

相談に乗ってあげる

それって必要？



自己紹介

【氏名】計良真生(けらまさき)

【職業】保育士

【活動遍歴】

岩手県の子どもたちと関わる学生団体に所属(大学4年間)

ボランティア団体くらうど 設立(大学院1年生)



大学近くの自治会の運営サポーター

越谷市観光協会まちづくり未来塾 塾生

越谷アルファーズ サポートボランティアスタッフ

Lake & Peace実行委員会 事務局

越谷市学生議会 議長

越谷市生涯学習審議会 公募委員

文教大学大学院を卒業しました。

中高社会の教員免許を持っています。

活動をはじめて地域の学生ボランティアと
いえば、「けらくん」と言っていたけりよう
になりました！



目次

- 「ふつう」に着目するようになったきっかけ
- なぜ子どもではなく大学生なのか(大学生を支えるというと子どもじゃないのかと嫌な顔をされることも)
- 支援がされていなかったは、果たして支援がいないからなのか
- 大学生を支援することで地域にもたらすメリット
- くらうどの紹介(データも踏まえて)
- 無を有にしたその先の展望



「ふつう」に着目したきっかけ

- 学校教育課程で学んだ集団教育の限界
→頼られる側って一体どこで頼るのか？
- ボランティア活動での先生からの一言
→そんな子どもっぽい高学年を初めて見ました！
- 地域の大人からの一言
→誰も期待していないからもっと自分らしく自由に生きなさい。



なぜ大学生なのか？

- 子どもへのアプローチへの限界

→ 家庭教育・学校教育という枠組み

- 大学生という脆弱性

→ 親からの自立、個性を求められる無個性

- 大学生と子どもの何が違うのか？

→ 親元から離れた大学生が実は1番、相談相手や助けを求めている

- これからの社会を生き抜くために

→ 就職が自身の最終ゴールにならないために

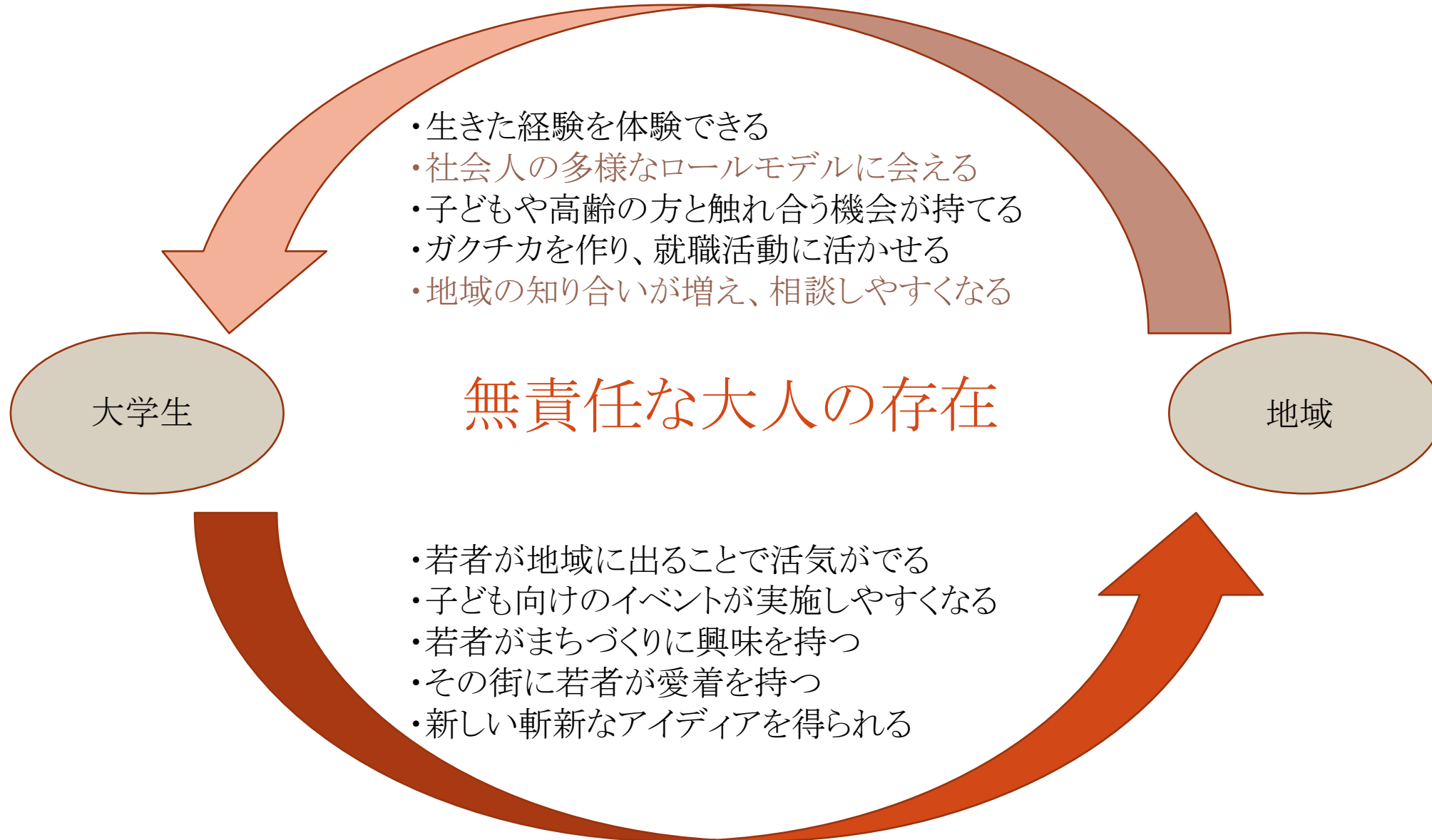


支援がなかった→支援しなくてよいのか？

- 頼られる側の「ふつう」で育った大学生
→頼り方を知らず、溜め込んでしまう
→自身が「ふつう」でいなくてはいけないという呪縛
- 日々の人間関係をどうにかこなしているために、「ふつう」とされる大学生
→周囲の目や意見を気にしすぎて疲れてしまう
→自身の本音や弱みを伝えて、相手がどう思うのかが怖いために伝えられない
- 将来やりたいことを見いだせないが、多くがそうだからと「ふつう」とされる大学生
→自身がやりたいことを見つける方法が分からない
→将来働かなくちゃというマイナスイメージから思考が進まない



大学生が地域に出る地域のメリット



ボランティア団体くらうどとは

これまで支援が必要とされていなかった「ふつう」の子ども・若者を地域の方で支えていくのがボランティア団体くらうどです。

誰もが自身の「ふつう」を見つめ直し、他者の「ふつう」を認め、これまでの価値観にスキマを作る。

地域での様々な活動や大人との関わり、大学生同士の関わりの中で多様な生き方に触れる体験や経験を届けています。



2021年9月 始動

主な活動実績

- ・市民まつり の会場統括を担当
- ・NHKさいたま放送局(NHKラジオに出演)
- ・こしがやFM(越谷市のラジオ)に5度出演
- ・J:comに3回出演
- ゴルゴ松本さんに会って来ました。
- ・YouTubeチャンネル4回出演
- ・現在、こしがやFMのラジオパーソナリティも担当

主催事業 **98**回 地域の参加者のべ **約1300人** 参加

協力事業 **79**回 参加大学生 のべ **1096人** 参加(2023年4月現在)

- 協賛企業 → 2社
- 後援・支援企業 → 3社(お弁当の支援)
- プロバスケットチーム**越谷アルファーズ**とパートナーシップを結ぶ

くらうど 遍歴



どんな活動をしているの？

大学生の地域の居場所

「神社であそぼ！」

大学生と大人の交流

「小さな畑プロジェクト
with麻雀交流会」

大学生とママの交流

「くらうど図書館」

大学生とラジオを繋ぐ

「こしがやエフエムの
ラジオパーソナリティ」

大学生の普段できない
体験を！

「越谷アルファーズの
ボランティアスタッフ」

大学生同士の交流と
大規模イベントの経験

「神社**de**夏祭り」

大学生のアイデアを
活かす

「地域のイベント出店」



大学生から見た「くらうど」

いざという時の
頼れる居場所

柔軟に好きな時に
好きなボランティアに
参加できる

他ではできない
ボランティアができる

臨機応変なアドリブ力
を鍛えられる

大人とたくさん
関わって視野が広がる

DIYもできるボランティ
ア団体！？

他学科他学年の友達
ができる

めっちゃメディアにで
てる



今後の展望

- 地域に大学生のためのボランティアセンターを作りたい
- 地域団体のボランティアを企画・相談・運営するボランティアコーディネートを仕事にしていきたい
- 大学と連携した強固なボランティアネットワークを構築したい
- もっと大学生が地域にでて、子育てしやすい若者が輝くまちづくりに携わりたい



まとめると

- これからはターゲット支援に留まらず、ユニバーサルも視野に入れる必要あり
- 「ふつう」の中に潜む、隠れたニーズをくみ取りこちらから歩み寄ることが大事
- 大学生をどれだけ支えるか、関わるかで地域の活性化や豊かさに変化あり
- 「無責任な大人」が無責任に大学生を応援し支えることがこれからのあり方
- くらうどへのご依頼、くらうどに参加してみたい大学生募集中です！

